



令和元年 (7月~9月)

まじわるde〇〇のイベント開催報告です。



出張「しょうがい者サポーター」養成講座

7月2日(火) 13:30~15:00
7月8日(月) 13:30~15:00
宮前第4、第2民生委員児童委員協議会の協力のもと、地域で活動する民生委員・児童委員の皆様を対象に、出張「しょうがい者サポーター養成講座」を実施しました。受講された方は普段より、地域で活動されているということもあり、講義中も積極的に質問が飛び交い、「しょうがい者サポーター」の意義を理解して頂くことができました。

虹の里「ケアマネカフェ」

8月16日(金) 14:00~16:00
特別養護老人ホーム虹の里「ケアマネカフェ」にて、地域包括支援センター虹の里様と、きまっしーが日頃からお世話になっている地域住民の方のご協力のもと、きまっしーの事業や活動の紹介をさせて頂くことができました。麻生区という事で、地域は異なりますが、意見交換を通して、住み慣れた街で安心して生活していくためには、障がい分野や高齢分野を始め、様々な分野の連携が不可欠であることをお互いに再認識することができました。きまっしーへの理解が地域を超えて広がったと実感し、嬉しく思いました。

【編集後記】

秋といえば...体を動かすことよりもついついおいしい味覚を楽しんでしまいます。皆さんはどんな秋をお過ごしですか。秋号では、しょうがい者サポーターについて1面に紹介しました。近隣やお知り合いで福祉について関心のある人がいましたらご紹介をお願いします。しょうがい者サポーターの輪が広がることで、障がいのある人も心地よく暮らせる街に繋がっていくと良いですね。

...deサンキャッチャー

8月7日(水) 13:30~15:00
講師: yoshika 氏
*参加者: 10名
今年で3回目となり、すっかり夏の恒例企画となりました!! 直観でビーズを選ぶ人もいれば、じっくりと選ぶ人もおり、とても賑やかな時間を過ごしながら、個性豊かなサンキャッチャーが完成しました。その後は「自慢比べ」をしました。作成する時に頑張ったところ、何をイメージして作ったのか、こだわりポイント等を皆で話しました。講師のyoshikaさんも「毎回新たな発見ができて、継続して開催すると楽しい!!」とコメントを頂き、皆で楽しむことができました!!

...deまなぶ:

発達障がいについて

8月22日(木) 13:30~15:00
講師: 阿佐野 智昭 氏
*参加者: 18名
受講者の方も熱心に講義に集中しており、発達障がいへの関心の高さが窺えました。事例を交えて具体的に講義が進み、又、体験を通して感覚的にも発達障がいを学ぶことができました。参加者からの感想では「人それぞれの特徴なのか、それを障がいとして捉えるのか色々考えさせられました」「障がい?病気?性格?は私の永遠のテーマです」などが寄せられ、発達障がいについて理解を深めると共に、社会の有り方について考えることができた有意義な「まなぶ」でした。

...deトーク

8月10日(土) 13:00~15:00
*参加者: 3名
連日の猛暑ということもあり、参加者は少なかったです。まじわるdeトークでは、最初に本日よりすることを参加者全員で決めていきます。今回は前回のリベンジがしたい!!という意見が多く、「ボードゲーム」をすることに決めました!! 今回は全員がゴールすることができました。トークも弾み大盛り上がりで時間が過ぎました。

しょうがい者サポーター養成講座

9月7日(土) 13:30~15:00
困っている人を見かけたら、まずは気にかけて見守ってほしいということを知り、障がい別に具体例などを出しながら説明し、受講者の理解につなげました。

...deまなぶ:

身体障がいについて

9月26日(木) 13:30~15:00
講師: 金 聡美 氏
*参加者: 10名
5名ずつのグループに分かれ、自己紹介から講座は始まりました。前半は座学、後半は身体障がいの疑似体験等を通して理解を深めました。「話す/伝える」「食べる」ことの難しさの体験や、街の風景写真を見て、どのように変わったら皆が住みよい街になるかについてディスカッションを行いました。参加者同士の交流も深められ、充実した時間を過ごすことが出来ました。



イベント Calendar 10月~12月

秋もイベント盛りだくさんです。障がいのある人もない人も住み慣れた街で安心して暮らせるように...ご興味のある方は、ぜひこの機会にご参加ください。

- 10月12日(土) まじわる de トーク
- 10月17日(木) まじわる de まなぶ (精神障がい)
- 11月 2日(土) まじわる de むわなないがまぐち (ワークショップ)
- 11月 7日(木) しょうがい者サポーター養成講座
- 11月19日(火) まじわる de 市民館トーク
- 12月 7日(土) まじわる de ワークショップ
- 12月14日(土) まじわる de トーク



発行日: 2019年10月1日
発行元: 社会福祉法人みのり会
生活支援センターきまっしー
連絡先: 宮前区馬絹6丁目10番33号
まじわる宮前2階
TEL 044(855)1011
FAX 044(855)1022
kimassi@tobe-kobato.or.jp

https://www.facebook.com/kimassi.kimassi/



皆さんで、しょうがい者サポーターになりませんか!

障がいのある人もない人も...ちょっとした気遣いでサポートが必要な人とサポートをする人を結びつけます。

サポートが必要な人

障がいのある人が街なかに出た時、ちょっとしたことで困ることはたくさんあります。自分から周りに上手く説明できる人もいますが、十分に説明できない人もいます。

“しょうがい者サポーター”はこのような場面にあった時にサポートします。

「大丈夫ですか?」「何かお手伝いをする事はありますか?」と声をかけてあげてください。また、様子によっては見守ることも立派なサポートの一つです。

サポートをする人

(しょうがい者サポーター)

「しょうがい者サポーター」とは、地域で生活している障がいのある人が街なかで困っている時に見守り、声かけをする人のことを「しょうがい者サポーター」と呼びます。

しょうがい者サポーターは、「しょうがい者サポーター養成講座」を受講することで、障がいに関する基礎的な知識やサポート方法などを学び、受講後登録することで「しょうがい者サポーター」として活動します。

サポーターに登録すると、しょうがい者サポーターキーホルダーを差し上げます。※障がいのある人の目に留まりやすいところに身に付けましょう。



【お知らせ】

しょうがい者サポーター養成講座の開催

日時: 11月7日(木) 13:30~15:00
会場: あーる工房2階
※この機会にぜひ受講してみてください。

※出張養成講座も行っています。



9月1日現在 **237名**の方が【しょうがい者サポーター】として登録しています。

“しょうがい者サポーター”へのご理解とご協力をお願いします。

第20回

しあわせを呼ぶコンサート が開催されました。

令和元年8月28日(水)宮前市民館大ホールにおいて「しあわせを呼ぶコンサート」が開催されました。「しあわせを呼ぶコンサート」は、音楽を通じて障がいのある方もない方も、出演者も観客も一体になってステージを作り上げ、お互いに理解を深め合う心のバリアフリーを目指しています。

「ベートーベンの『第九(歓喜の歌)』を原語(ドイツ語)で歌いたい」という障がい者施設に通う方の思いを受け、宮前区内在住の音楽家の方々と、区内福祉施設関係者の協力により実現しました。

第1部では、神奈川フィルハーモニー管弦楽団の合奏と共に、総勢130人を超える「宮前障がい者施設・作業所等連絡会」による合唱が披露されました。20回記念として、例年2曲だった課題曲を3曲に増やし、「見上げてごらん夜の星を」「パプリカ」「愛は勝つ」を披露しました。曲に合わせて体が自然に動き出す方もおり、楽しそうでした。第1部最後は、ドイツ語で歌う「第九」で、皆さん練習の成果を発揮され、合唱が終わると会場からは長い間拍手が送られていました。

第2部では、ゲストステージとして「荒川知子とファミリーアンサンブル」によるリコーダーとフルートのアンサンブル、神奈川フィルハーモニー管弦楽団と客席合唱として「翼をください」「花は咲く」等が披露されました。客席とステージが一つなり、会場全体が温かな空気に包まれました。

演奏後、ご協力頂いた音楽家の皆さま、ゲストの皆さまへ、各障がい者施設で作ったオリジナルの記念品が贈られました。

来年も、このような心温まるコンサートを楽しみにしています。

主催：川崎市宮前区役所、「しあわせを呼ぶコンサート」実行委員会
協力：ボラスタス花の木会

【宮前障がい者施設・作業所等連絡会】施設一覧

- | | | | |
|-----------|---------|-------------|----------|
| ●あーる工房 | ●いぬくら | ●工房じんべい | ●しらはた |
| ●セルブ宮前こぼと | ●厨房じんべい | ●トゥーランプラン宮前 | ●長尾けやきの里 |
| ●宮前ふれあいの家 | ●宮前ハンズ | ●宮前フレンズ | ●れいんぼう川崎 |



地域の人達がふれあえる場として... TIDA's house (ティダズハウス)



野川地区にも誰もが気軽にふれあえる居場所を作ろうと、老朽化した空き家を借り、地元の人達や仲間たちの協力もあってリフォームを手作りで行い、今年5月「TIDA's house (ティダズハウス)」としてオープンしました。

オーナーの小川さんは、野川で母親たちによるバザー「SUN FESTA」の主催者側の一人として長年関わってきました。ただ毎年1回の開催では地域の人たちとの交流活動も少ないことから「それなら毎日がSUN FESTAのようにみんなが集える場所を」とハウスの設立に至ったそうです。

ハウスの一押し！

- ☆【お茶べりハウス】：食べ物や飲み物を持ち寄って気楽に過ごせるスペースを設けています。
- ☆【駄菓子屋】：子供たちが気楽に立ち寄れる駄菓子コーナー。
- ☆【ビオスチーム】：発酵もぎ蒸し(要予約)。気分爽快！

笑顔あふれる温かい家となるようにと思いを込めた「TIDA's house」みなさんもぜひ足を運んでみてください。

詳しくは で検索。



【ハロウィン】(2019制作)

みつはし れつ
三橋 烈 さん

生活介護 セルブ宮前こぼと 所属

1998年生まれ。

幼少の頃から養護学校時代にかけて模写、似顔絵など、描くことが好きで、縫い物もしていた器用な彼は、2016年よりセルブ宮前こぼとに所属。絵画活動に参加していた当初は、文字をひたすら紙に描いていた。これもまた面白みを感じられる作品なのだが、最近では、昔よく描いたというハッチポッチステーションを描いている。

現在は、絵画活動が気になる様で、担当支援員を見かけると「絵画、いつ？木曜日？」と問いかけてくる。

第4回 まじわる de 夏まつり 報告とお礼



※今年もメロコス兄妹が遊びに来てくれました～。



※駐車場の会場は、今年も大賑わいでした。



ワークショップも盛りだくさん！
バルーンアートや手作りうちわ、虫よけスプレーコーナーもあって会場は和やかでした～。



令和元年7月20日(土)、まだ梅雨空が残る蒸し暑い中でしたが、まじわる宮前(宮前地区会館、あーる工房)を利用して【第4回まじわるde夏まつり】を開催いたしました。

地域の福祉施設・団体、ボランティア・当事者グループ、町内会・地区社協、行政等のさまざまな団体にご協力をお願いして夏まつりも昨年以上に盛り上がる事ができました。

来場者も200名を超え、特に浴衣を着た家族連れで遊びに来られる方も多く見受けられるようになりました。まじわるde夏まつりも少しずつですが、地域の皆さまからも注目されるようになりました。

今回、まじわるde夏まつりを手伝っていただきましたしょうがい者サポーターや地域の関係者の皆さまには心より感謝申し上げます。

来年も皆さまからいただいたアンケートやご意見を参考に、障がいのある人もない人も一緒にまじわって楽しめる「まじわるde夏まつり」を企画していきます。

これからも皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

生活支援センター きまっしー スタッフ一同



※あーる工房で行われた自主製品の販売会場は、今年もカラフルな製品が一杯でした。



※どれにしようかな？

※地区会館の会場では、4団体により合唱や演奏、踊りなどが披露されました。



たくさんのご来場、ありがとうございました。

